

自己評価シート

職員による自己評価

A環境面

教室の整理整頓、スタッフ人員配置、活動計画には、高評価が得られた。

B利用者への支援内容

カフェコーナーの活動が利用者のためになっていると高く評価を得た。支援の成果が学校や家庭にあらわれているかという問いには、わからないという回答が1

C関係機関との連携

他機関との連携について、4割がどちらともいえないという回答だった。

D保護者への説明責任・信頼関係

良い評価を得ている。

E非常時対応

避難方法や虐待、ヒヤリハット等の危機管理について、周知し共有できている。

保護者による評価

A環境面

利用者の人数に対して、十分なスタッフが配置されていると高評価が得られた。

B利用者への支援内容

利用者のニーズを把握した支援活動が行われているとの好評価が得られたが、学校や家庭での生活にあまり表れていないという評価が3%あった。

C事業所からの情報発信

レクタスのホームページやブログやフェイスブックを利用している保護者は少なく、半数程度だった。

D非常時対応

台風・警報などの緊急時のお知らせについて、約1割の保護者が届いていないと回答。レクタスが保険に加入していることを知らない保護者が2割いた。

事業所内での分析

【共通点】

カフェコーナーが利用者の居場所となっている。レクタスでの活動が学校や家庭に生かされていない。また、他機関との連携がとれていないという評価が2割ほどあった。

【相違点】

緊急時対応訓練をおこなっていることを知らない保護者がいる。

分析・検証してみた

事業所の強み

学習スタッフとカフェスタッフが十分に配置されている。スタッフの協力体制が充実しており、支援に生かされている。利用者の個性や特性に合わせて支援スタッフを配置することができる。学校の先生と情報交換をして、担任と保護者の誤解を解消し円滑な教育活動や支援ができるように協力ができている。

事業所の改善点

避難訓練等の実施を保護者に周知する。保険に加入をしていることを毎年お知らせする。

事業所の改善への取り組み

レクタスのホームページやブログを利用しない保護者が多いので、霧が丘教室だよりを発行して、避難訓練を始め活動内容を伝えていくようにしたい。学校や他機関との連携を積極的にすすめているので、保護者には面談の機会に伝えるようにする。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

個々の保護者や個性豊かなスタッフのニーズをどのような方法で受け止めるかについて考える機会となった。

事業所名	レクタス放課後等デイサービス霧が丘教室
担当者	塚原喜代子
